

平成 23 年 9 月 27 日

各 位

会 社 名 日本マニファクチャリングサービス株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 小野 文明  
 コード番号 2 1 6 2  
 問 合 せ 先 取締役執行役員コーポレート本部長 末廣 紀彦  
 電 話 番 号 03 (5333) 1711 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成23年7月26日に公表した株式会社テーケアールの子会社化により、平成23年8月1日に「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました平成24年3月期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。尚、個別業績予想につきましては、前回予想より修正はありません。

記

1. 平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想（A）	11,500	150	120	60	602円77銭
今回修正予想（B）	11,500	150	120	900	9,041円59銭
増減額（B－A）	—	—	—	840	—
増減率（%）	—	—	—	—	—
（ご参考）前期第2四半期実績 （平成23年3月期第2四半期）	8,983	276	265	764	38,428円46銭

2. 平成 24 年 3 月期通期連結業績予想（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	24,500	650	630	370	3,717円10銭
今回修正予想（B）	35,000	750	730	1,050	10,548円52銭
増減額（B－A）	10,500	100	100	680	—
増減率（%）	42.9%	15.4%	15.9%	183.8%	—
（ご参考）前期実績 （平成23年3月期）	20,675	602	584	907	45,595円87銭

<業績修正の概要>

上記通期連結業績予想数値は、株式会社テーケアール（及び株式会社テーケアールの子会社6社との連結、以後TKRグループという）の平成23年7月1日～平成24年3月31日の業績予想を取り込んだ連結業績予想数値であります。即ち、業績予想数値は、TKRグループ及び当社日本マニファクチャリングサービス（以後nms）、志摩電子工業グループ（以後志摩グループ）の当該期間における業績と連結財務諸表において発生する「負ののれん」（特別利益）を考慮して算定しております。「負ののれん」は、TKR株式取得価額とTKRグループの持分時価純資産額との差異を表すものであります。

TKRグループと当社グループの財務諸表の連結は、TKRグループの各社が12月決算であることから、7月～12月の6ヶ月分を当社グループの10月～3月の財務諸表に取り込むこととなります。

TKRグループは、国内4拠点、海外4拠点を有するEMS企業であり、且つ国内拠点、海外拠点のいずれもが当社グループ（nms及び志摩グループ）が展開する拠点と地理的に隣接しており、且つ事業面でも当社の掲げるneo EMSの戦略展開に大きな事業シナジーが見出される企業グループであることから、今後の当社グループの成長を一層加速させるものと確信しております。

但し、TKRグループの当期の業績につきましては、東日本大震災の直接的、間接的影響が相当規模で見られること、メーカー各社を取り巻く円高等などの厳しい環境が招来していること、連結初年度であること等を総合的に勘案し、前期業績に比してかなり保守的に見積もっております。

一方、TKRグループにおいては、昨年連結子会社化した志摩グループに比して厳正な会計処理がなされていることから、負ののれんが当初予想を上回る9億円程度発生する見込みであります。なお、負ののれんの計上は当社グループ連結財務諸表の9月末にて計上いたします。

以上の結果、TKRグループとの連結により、売上高、営業利益、経常利益が保守的な見通しに留めたものの、当期純利益においては当初目論見を大幅に上回る10.5億円を予想しております。

<業績予想に関する注意事項>

この資料に記載されております業績予想数値につきましては、現時点で入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、この資料に記載されている予想とは異なる可能性があることをご承知おきください。

以 上